

大分県下専門職能団体

（拡大運営会議構成団体）活動報告

<記載項目>

- ①会の現状
- ②地域リハ関連の活動・取り組み
- ③地域リハ活動における課題・今後の展開

大分県医療ソーシャルワーカー協会

会長 井元 哲也



1. 大分県協会の現況

正会員数 220名(H25年3月31日時点) 賛助会員 団体8

<組織> 執行部 会長 副会長 常任理事 理事 計15名

平成24年度： 理事会 年9回

<研修部>

○初任者研修会

対象：1年未満～2年目までのMSW

開催日：平成24年6月9日(土)～10日(日)

会場：大分県労働福祉会館 全労済 ソレイユ

内容：『日本におけるソーシャルワーカーの歴史について』『診療報酬について』
『専門職として持つべき価値観』『記録の重要性～専門職の視点とは』

参加数：24名

○ステップアップ研修

対象：2年目～5年目までのMSW

開催日：平成24年7月15日(日)

会場：別府ビーコンプラザ

内容：『ソーシャルワークの実務～価値・実践・理論の再考』

参加数：31名

○中堅者研修

対象：5年目～15年目までのMSW

開催日：平成24年6月2日～平成25年1月20日(全5日)

会場：別府ニューライフプラザ

内容：『実践プログラミング』『ソーシャルワーカーが病院にいる意味』
『面接技法』『スーパービジョン』『組織と連携』
『実習指導者実践報告会』

参加数：9名(内1名補講)

○スーパービジョン

開催日：平成24年11月11日(日)

会場：大分市コンパルホール

内容：『実践を言語化できるスーパービジョンの講義及びグループワーク』

参加数：13名

○リーダーシップ研修

対 象：10年目以上のMSW

開催日：平成24年8月19日(日)

会 場：別府ビーコンプラザ

内 容：『リーダーシップについての講義とグループワーク』

参加数：17名

○『中間管理職研修』

対 象：10年目以上のMSW

開催日：平成24年10月28日(日)

内 容：オリエンテーション、コミュニケーションの三原則UPA、
ファシリテーションとは、職場で起こっている問題の抽出、
重要な門団の要因分析・対策立案、PDCAサイクルの考え方

会 場：大分県労働福祉会館 全労済 ソレイユ

参加数：12名

○公開セミナー

対 象：全会員及び大分県内のMSWに従事する非会員等

開催日：2013年3月10日(日)

会 場：別府ニューライフプラザ

内 容：特別講演『東日本大震災から考える～これからの私達にできる事』
全体討論会『MSWの「やりがい」を考える』
研究発表事例検討『公開スーパービジョン』

参加数：96名

<学術部>

今年度は「我々をソーシャルワーカーたらしめている“やりがい”はどこから感じているものなのか」ということについて研究を行った。研究については3月10日の公開セミナーにて会員へ実践報告実施。

<ネットワーク推進部>

○地域情報交換会の実施（南部6/22、北部11/3、東部2/23）を開催

○前年度実施したMSW配置・意識調査アンケートの分析を行い、各会員向けに資料郵送。ホームページ掲載。

○三役並びに理事会・協力のもと保健医療団体協議会、大分県地域リハビリテーション研究会、大分難病研究会、大分県地域生活定着支援事業運営協議会等への部員・協会の参加、リレーフォーライフ実行委員担当など渉外活動を通じ関係団体や患者団体との連携強化。

○メーリングリスト：登録者数167件と増加する。発信総数55件/年。

○研修部、学術部、広報部が行う活動への協力。

<広報部>

大分県医療ソーシャルワーカー協会の取り組みを会員はもとより、各種団体や個人に広く広報活動を行う。

- ホームページ更新(36回)
- 広報誌「かはら版」発行(年4回)

<本年度独自の取り組み>

- 「ふくしまっ子」応援プロジェクト実行委員会の参加と活動支援
- 診療報酬改定ワーキングチームによる研究報告

<学会発表>

地域リハに関する他職種との協働の発表は各学会で会員が行っている。

2. 地域リハビリテーション関係動向抜粋

- 4/24 大分県地域リハビリテーション研究会運営部会
- 5/16 大分県リハビリテーション拡大会議
- 5/18 大分県地域リハビリテーション研究会運営部会
- 5/29 大分県地域リハビリテーション研究会役員会
- 6/19 大分県地域リハビリテーション研究会運営部会
- 6/28 大分県保険医療団体協議会
- 7/21 大分難病研究会世話人代表
- 7/30 大分県地域リハビリテーション研究会運営部会
- 8/3 リレーフォーライフ キャプテン会議：脇坂理事
- 8/9 大分県保険医療団体協議会
- 8/27 大分県地域リハビリテーション研究会営部会
- 9/4 リレーフォーライフ大分決起集会
- 9/9 大分県保険医療団体協議会「元気フェア」
- 9/15.16 リレーフォーライフ大分
- 9/24 大分県地域リハビリテーション運営部会
- 10/16 大分県地域リハビリテーション研究会運営部会
- 10/19 第2回大分県保健医療団体協議会
- 10/28 大分県地域リハビリテーション研究会
- 11/1 大分県地域包括ケア研究会
- 11/11 第30回大分県病院学会
- 12/4 大分県地域包括ケア研究会
- 12/16 第16回高次機能障害リハビリテーション講習会
- 12/17 大分県理学療法士協会研修会(シンポジスト)
- 12/17 大分県地域リハビリテーション研究会運営部会
- 2/5 大分県脳卒中・回復期維持期等地域連携推進協議会
- 2/10 第6回大分県回復期リハビリテーション病棟連絡協議会研修

- 2/22 大分県難病医療連絡協議会
- 2/24 平成 24 年度多職種協働による在宅チーム医療を担う地域リーダー研修
- 3/4 地域リハビリテーション研究会運営部会
- 3/18 大分県地域リハビリテーション研究会役員会
- 3/28 大分県保険医療団体協議会 理事会

3. 地域リハ活動における課題・今後の展開

地域包括ケアシステムにおいて、人と社会(環境・社会資源など)を見る視点とコーディネート力はソーシャルワーカーの専門とするところである。25 年度は病院内のチームのみならず地域を巻き込んだ展開をしていくために、リーダーとなるべき力強い MSW を育成することが当協会の目標です。

(公社) 大分県栄養士会

会長 安部 澄子



1. 会の現状

会員数 765 名

職域分野 (7)	支 部 (7)	
(1) 学校健康教育	大 分	(大分市・由布市)
(2) 公衆衛生	別 府	(別府市)
(3) 教育・研究	東 部	(日出・国東・杵築)
(4) 勤労者支援	北 部	(宇佐・中津・豊後高田)
(5) 地域活動	豊 肥	(竹田・豊後大野)
(6) 医療	南 部	(佐伯・臼杵・津久見)
(7) 福祉	西 部	(日田・玖珠)

2. 地域リハ関連の活動・取り組み

1) 研修会 (後援・協力)

- ①第9回大分県地域リハビリテーション支援センター
大分県地域リハビリテーション研究会合同研修会
- ②大分県地域リハビリテーション研究会研修会
- ③第21回中部圏域大分地域リハビリテーション広域支援センター
「地域包括ケアシステム研修会」
- ④第22回中部圏域大分地域リハビリテーション広域支援センター
「地域包括ケアシステム研修会」
- ⑤第23回中部圏域大分地域リハビリテーション広域支援センター
「地域包括ケアシステム研修会」
- ⑥大分県地域包括ケア研究会設立記念講演会
- ⑦第3回地域包括ケアシステム研修会

2) 主催

- ①生涯学習研修会 (卒後教育)
- ②大分県栄養士会調理研修会 (栄養士・調理師)
- ③大分県栄養士会新人研修会 (ウエルカム研修)
- ④第12回大分県栄養士学会
- ⑤スポーツ栄養研究会
- ⑥重症化予防のための食事指導活動拠点整備事業研修会
- ⑦地域包括ケアシステム会議担当者研修会
(大分県における地域ケア会議の動向) ～栄養士への期待～
- ⑧ヘルパー調理講習会
- ⑨親子チャレンジクッキング
- ⑩男性料理教室

3) 共催

- ・おおいた食のリハビリテーション研究会
(大分県栄養士会・言語聴覚士会・歯科衛生士会・介護福祉士会)
第11回研究・交流会「最後まで口から食べてもらいたい」
～口腔ケア&義歯～
第12回研究・交流会「包括的栄養管理と地域連携」
- ・大分県社会福祉介護研修センター
介護担当技術研修「摂食・嚥下セミナー」講師派遣
- ・大分県保健医療団体協議会「げんきフェア」

4) 会議出席

- ①大分県地域リハビリテーション研究会・役員会・拡大運営委員会
- ②中部圏域大分地域リハビリテーション支援センター
連絡協議会・実行委員会
- ③大分県介護予防市町村支援委員会 口腔機能向上・栄養改善向上専門部会
- ④大分県在宅歯科診療検討部会
- ⑤大分県豊の国8020運動推進協議会
- ⑥大分県保健医療団体協議会
- ⑦大分県糖尿病対策推進委員会

5) 講師派遣

- ・大分県社会福祉介護研修センター 「摂食・嚥下セミナー」
- ・職業能力開発支援事業 大分県竹工芸訓練支援センター介護講義
(栄養及び調理)
- ・介護労働安定センター介護労働講習(ケアサポート講習)
- ・大分県調理師試験受験準備講習会
- ・大分県赤十字血液センター健康相談事業
- ・大分市食育サポート養成教室
- ・スマートチャレンジプロジェクト(出前講座)
- ・高齢者介護予防(栄養改善)事業
- ・食育事業
保育園・幼稚園・小学校・PTA等対象講話及び調理実習・赤ちゃん教室等

3. 地域リハ活動における課題、今後の展開

- ・医療と福祉との連携による在宅支援
在宅訪問栄養指導の実施
在宅での摂食・嚥下困難、障害のある方への対処
在宅での栄養、食事に関して問題のある方への支援
地域ケア会議での栄養ケアマネジメントに対する理解

(公社) 大分県栄養士会では、栄養ケア・ステーション事業として栄養相談、食生活相談「食と栄養」、病態栄養及び調理等に関してよろず相談を実施している

〔 電話無料相談（来所も可） 相談員：健康栄養アドバイザー
一般相談（水曜日） 10:00～15:00
妊婦、乳幼児相談（火・水・金） 10:00～15:00

地域ケア会議について、栄養・食支援について専門的な視点から個人に対する栄養アセスメントを理解し適正な支援が出来るようスキルアップが重要であり、管理栄養士の質の向上を計るための研修会を実施する。他職種及び地域連携を密にして、食を通して生活を整えていく事業を展開したいと思っています。

特に在宅訪問栄養指導によって高齢者の栄養改善は、食生活全般を見る必要があります。複合的（疾患、病状栄養状態）な健康課題を持つ高齢者に対しての栄養食事指導が必要で介護予防にもつながるので、在宅訪問栄養食事指導の重要性を強く感じています。

公益社団法人として県民の公衆衛生に寄与することにより社会的責務を果たすことを目的に事業を展開しています。

NPO 法人 大分県介護支援専門員協会

理事長 千嶋達夫



特定非営利活動法人 大分県介護支援専門員協会は、県下 14 市町の地域協議会から成っており、504名の会員がいます。上部組織では一般社団法人日本介護支援専門員協会があります。

平成24年4月より介護保険法の改定があり、他職種との連携を含め、介護支援専門員の真価が問われています。

今年度、大分県より主任介護支援専門員研修の委託を受け、地域・事業所での指導を行うことのできるスーパーバイザーを育成する目的で取り組んでまいりました。

次に、介護支援専門員のスキルアップのための研修として、7月に社会福祉制度や社会保険制度は知っているが、実践に役立てられていないなどの課題に対し、社会福祉制度（身体障害者福祉・生活保護制度など）や社会保険制度（公費医療負担制度など）の理解を深めることを目的とし、「身体障害者手帳」「特定疾患」「医療保険制度」「医療扶助」など、利用者の在宅生活を支えるための具体的な制度を講義と演習で学びました。

また、1月には「住居型高齢者専用住宅等で暮らす方のケアプランを考える」というテーマで、住宅型高齢者専用住宅等で暮らす高齢者が増えて来た中で在宅に近い暮らしをするにはどのようなケアプランを利用者とともに作ればよいかと言った疑問を解決するため、事例を使って演習を取り入れながら研修会を行いました。

他には、3月に日本介護支援専門員協会の九州・沖縄ブロック研究大会 in おおいたを当協会がブロック担当理事として主催し、「ケアマネジメント力を高めよう～専門職としてのあり方を考える～」のテーマで開催し各県より500名近くの参加がありました。

地域リハ活動における今後の課題としては、リハビリテーションを地域に根付かせるために、ケアマネジメント力、ケースワーク力、医療知識の向上が必要である。会員に対する研修会を行うとともに、主任介護支援専門員研修を通じてスーパーバイズできる介護支援専門員の養成を図っていきたいと考えています。

(一社) 大分県介護福祉士会

会長 三浦 晃 史



1. 会の現状

会員数 1301 名

支部構成 8 支部 (日出、大分、由布、臼杵、佐伯、豊後大野、日田、宇佐)

2. 地域リハ関連の活動・取り組み

○大分県介護福祉士会 研修会・・・年 5 回

第 1 回 「介護保険の制度改正と大分県に於ける地域包括ケアシステムの取り組み」

第 2 回 キャリアパス第 1 回研修会 「メンタルヘルスとセルフケア」

第 3 回 キャリアパス第 2 回研修会 「介護記録を学びませんか ～記録に強くなる
つぼを押さえよう。介護記録の書き方・活用法」

第 4 回 キャリアパス第 3 回研修会 「痰の吸引」と「経管栄養」について

第 5 回 キャリアパス第 4 回研修会 「介護福祉士と社会保障の関連制度について」
「しっかり支えちよくれ～高齢者の心と体～」

「福祉用具の概要と活用」

「コミュニケーション技術」

「緊急時の対応」

○初任者研修会・・・全 3 日間開催

○再就職応援セミナー・・・年 1 回開催

○支部研修・意見交換会

「認知症との上手な付き合い方～認知症を知る～」

「介護福祉士としての倫理」

「介護技術～体の動かし方・床からの立ち上がり～」

「介護技術～車いす介助・高齢者疑似体験～」

「介護技術～視覚障がい者の介助～」

「HAPPY PEOPLE LIVE LONGER！」加齢と糖尿病・食事のお話

「トランスファー講習」

「普通救命講習」 …… 等

○出前介護教室 年 3 回開催 (別府 1 回・国東 2 回)

対象者・・・一般の大分県民

○介護チャレンジ教室 年 3 回開催 (三佐小学校・下郡小学校・西の台小学校)

対象者・・・大分県下の小中学生

○子供のための福祉講座

内容 福祉講話・介護体験・車いすの介助・アイマスク体験

対象者 県下の小・中・高生 講師派遣回数 年 11 回 派遣会員数 52 名

○「出前福祉教室」「福祉体験教室」 小学校・中学校 6校 講師派遣 24名

○各種委員会への委員派遣

- 大分県地域リハビリテーション研究会
- 大分県排尿リハビリテーションケア研究会
- 大分県契約締結審査会委員
- 大分県ボランティアネットワーク委員会
- 老人福祉計画策定委員会
- 大分県社会福祉介護研修センター運営委員会
- 大分県社会福祉介護研修センター福祉用具専門部会
- 中部圏域地域リハビリテーション支援センター実行委員会
- 介護認定審査会(国東・大分・宇佐・中津)
- 介護福祉士国家試験実地試験委員
- 大分県災害ボランティアネットワーク運営委員
- 大分県医療適正化推進協議会委員
- 豊後大野市高齢者虐待防止ネットワーク連絡会委員
- 大分県介護予防市町村支援委員
- 福祉人材確保推進委員
- 脳卒中懇話会世話人
- 大分県地域包括ケア研究会

(公社) 大分県看護協会

会長 松原 啓子



1. 大分県看護協会の現状

※ 会員数：8,659名（平成25年3月31日現在）

・常任委員会(11)・特別委員会(3)の14委員会で事業を展開している。

・県下を9地域に分け地区活動を推進

①国東地区 ②別府・杵築・日出地区 ③大分地区 ④臼杵・津久見地区

⑤由布地区 ⑥豊後大野・竹田地区 ⑦中津・宇佐・豊後高田地区

⑧佐伯地区 ⑨日田・玖珠・九重地区

地区活動に教材提供...DVD(新人看護技術研修・医療安全・感染予防等)

看護の日事業(ふれあい看護体験等)・看護の集い・研修連携のための事業

※ H24年度常任委員会に組織活動委員会を新設。各地区より1名選出し組織強化

2. 地域リハ関連の活動・取り組み

<県民の健康づくりへの活動>

1) げんき教室 毎月第4水曜日 14:00～15:30 於) 大分県看護研修会館 高齢者対象

月	テーマ	講師	人数
4月	脳をきたえ、能力アップ	泉 美佐子	75人
5月	筋力アップで元気アップ	松元 義人	79人
6月	笑いで元気になろう	矢野 大和	120人
7月	熱中症にならないために	中尾 和恵	75人
8月	健口づくりのポイント	甲斐 智子	75人
9月	貯筋体操	伊藤 千奈美	78人
10月	こころの健康ライフ	野上 美智子	75人
11月	インフルエンザを予防しよう	奥 由美	55人
12月	脳卒中にならないために！ ～ここを知って欲しい～	蓑田 愛子	58人
1月	らくらく体操で元気アップ	伊藤 千奈美	77人
2月	くすりの最新情報	安東 哲也	86人
3月	おいしく食べる健康アップなのこつ	溝邊 淑子	56人

平成24年度 皆勤賞...11名 (H23年度 1名)

2) 大分市生活文化展での「まちの保健室」開催 5日間 (10/6.7.8.13.14)

於) 城址公園

測定・指導人数

延べ4,075人

※血圧体脂肪測定・血管年齢測定・スモーカーライザー・乳がんモデル

- 3) 大分合同新聞社文化講演会“萌”での健康相談 年4回
 於) オアシス ※血圧・体脂肪測定、健康相談 測定・指導人数 延べ321人
- 4) 「人とみどりふれあいいち」での健康相談 2日間(4/20・4/26)
 於) 平和市民公園 ※血圧・体脂肪測定、健康相談 測定・指導人数 延べ39人
- 5) 「げんきフェア」 1日間(9/9)
 於) 豊の国健康ランド 主催：大分県保健医療団体協議会10団体
 ※血圧・体脂肪・血管年齢測定、健康相談 測定・指導人数 延べ122人
- 6) ふれあいフェスタ(新規) 於) 大分県身体障害者福祉センター
 ※血圧・体脂肪・血管年齢測定、健康相談 測定・指導人数 延べ101人

<リハビリ関連の教育・研修> 括弧はH23年度 於) 大分県看護研修会館

	研修名	①開催日・人数		②開催日・人数	
1	呼吸・理学療法	7/10	47(67)	3/3	23(54)
2	摂食・嚥下障害患者の看護	7/17	59(60)	12/2	37(49)
3	リハビリテーションにおける看護師の役割	11/18	18(48)	2/26	28(22)
4	高齢者の転倒転落防止	6/18	87(50)	3/24	50(58)
5	高次脳機能障害の理解と看護	10/28	26(51)	3/12	30(34)
6	排泄ケア (ウロストミー・オストストミー)	10/26	19(8)	3/9	21(16)
7	褥瘡ケア	8/5	91(93)	11/19	63(63)
8	エビデンスに基づいた口腔ケア	9/18	47(42)	1/27	23(28)

大分県スポーツ学会認定スポーツ救護講習会 (新規)

主催：大分県スポーツ学会 / 共催：大分県看護協会

大分県内のイベントやスポーツ救護などの要請に協力

前期 ①4/28 143(Ns109)人 ② 6/2 160(Ns129)人 ③7/21157(Ns127)人

後期 ①9/30 135(Ns 69)人 ② 10/28 126(Ns74)人 ③11/11 127(Ns76)人

スポーツ救護ナースの登録者：看護協会員 107人 非会員 32人

※県外からの受講者・他職種(教職・一般・学生)の受講者あり

「看護の日・看護週間」事業

(看護フォーラム)

テーマ「つながる看護 病院から在宅へ」

日時：平成24年5月13日(日) 13:00~16:00 参加数 155人

基調講演：演題「超高齢社会に向けて切れ目ないケアを提供するために

講師 あすか山訪問看護ステーション統括所長 平原 由美氏

シンポジウム：「看護職が主導・開拓する在宅ケア」

発表者：訪問看護利用者、病院の地域連携室、訪問看護ステーション、

介護老人保健施設、地域包括支援センターの立場から

(ふれあい看護体験)

大分県下 9 地区で実施 平成 24 年度... 92 施設 445 名の高校生が参加
※助産師 保健師体験希望の高校生が増えている

3. 地域リハ活動における課題・今後の展開

<平成 25 年度重点事業>

*「看護の日・看護週間」事業

(看護フォーラム)

テーマ「安心して暮らし続けられる地域に向けて」

日 時：平成 25 年 5 月 12 日(日) 13:00～16:00

<特別講演>

演題：「地域包括ケアの実現に向けた看護からの提案」

講師：東北大学保健学科地域ケアシステム看護学分野 田口敦子氏

<シンポジウム>

テーマ：「地域包括ケア推進に向けた看護職の役割

発表者：大分県高齢福祉課参事、宗像医師会訪問看護ステーション管理者

豊後大野市市民生活課健康長寿係 (保健師)

杵築市主任介護支援専門員 (看護師)

大分県北部保健所豊後高田保健部参事兼地域保健課長 (保健師)

*平成 25 年度 第 44 回日本看護学会学術集会「看護総合」

日 時：平成 25 年 9 月 13 (金)・14 日 (土)

場 所：別府ビーコンプラザ

テーマ：目覚めよ！看護の力

演題発表数予定 口演 100、示説 300 計 400

参加者定員 2,000 人

特別講演Ⅰ 「看護の現在をナイチンゲールの原点に問う」神庭純子

特別講演Ⅱ (一般市民講座) 「糶と健康」 浅利妙峰

*在宅での療養者のための訪問看護などに関する事業

- ・在宅看護関連の研修を系統的に整理
- ・訪問看護師養成・育成事業
- ・訪問看護推進事業
- ・教育機関として、訪問看護実習受け入れ

*まちの保健室関連

- ・大分生活文化展参入 5 日間 (H25.10/5.6.12.13.14) 於) 大分城址公園
- ・おおいた女性倶楽部「萌」 年 4 回 於) iichiko グランシアタ
- ・人とみどりふれあいいち 2 日間 (5/13-14) 於) 平和市民公園
- ・ふれあいフェスタ 於) 大分県身体障害者福祉センター

- ・げんきフェア 10団体 8～10月頃 於) ソレイユ
- ・げんき教室 (毎月第4水曜日 14:00～15:30) 於) 大分県看護研修会館
- ・高齢者水中介護予防教室 (主催: 大分フットボールクラブ) 於) ルネサンス大分

(一社) 大分県言語聴覚士協会

会長 平岡 賢



1. 会の現状

1) 会員数及び施設数(平成 25 年 5 月 1 日現在)

会員数：225 名 ※約 7 割が大分、別府に集中している

施設数：82 施設

2) 構成：

事務局（総務部、事業部、財務部）

社会局（広報部、地域連携部）

学術局（学術研究部、教育研修部、小児研修部、通所訪問部）

委員会（地域包括ケア委員会、災害時対策委員会）

特別委員会（全国研修会準備委員会、九州地区学術集会委員会、
公益社団法人準備委員会）

2. 地域リハ関連の活動・取り組み

1) 言語障害友の会「なし会」関連

①第 11 回総会・なし会春の行事

日 時：平成 24 年 5 月 20 日（日）

場 所：亀の井ホテル（別府）

参加数：22 名

内 容：なし会総会、花見

②なし会忘年会

日 時：平成 24 年 12 月 9 日（日）

場 所：別府パストラル

参加数：27 名

内 容：レクリエーション・交流会・食事会

③各ブロック会の開催及び参加

回 数：1～2 ヶ月に 1 回程度（各ブロック会にて決定）

内 容：会員間及び家族間の情報交換、食事会

2) 言語聴覚の日全国大会 in 大分

日 時：平成 24 年 10 月 28 日（日曜日）11 時～16 時

目 的：言語聴覚士、他の医療職種の啓発活動

方 法：竹町ガレリア広場にて、ステージイベント、
トークショー、体験コーナー等

3) 大分県地域リハビリテーション関連

①大分県地域リハビリテーション研究会

日 時：平成 24 年 10 月 28 日（日）

場 所：別府ビーコンプラザ 国際会議室

②第 9 回大分県リハビリテーション支援センター・

大分県地域リハビリテーション研究会合同研修会への協力

日 時：平成 24 年 7 月 8 日（日）

場 所：別府ビーコンプラザ 国際会議室

- 4) おおいた食のリハビリテーション研究会
（社）大分県栄養士会、（一社）大分県歯科衛生士会、
（一社）大分県介護福祉士会、（一社）大分県言語聴覚士協会
① 第9回研修会合同開催

- 5) 歳児発達相談会への派遣
- | | | | |
|----------|---|------|----|
| 1) 中津市 | ～ | 派遣回数 | 4回 |
| 2) 宇佐市 | ～ | 派遣回数 | 4回 |
| 3) 豊後竹田市 | ～ | 派遣回数 | 4回 |
| 4) 由布市 | ～ | 派遣回数 | 1回 |
| 5) 豊後大野市 | ～ | 派遣回数 | 3回 |

(健診事業への派遣)

- 1) 宇佐市 ～ 派遣回数 2回

(巡回相談への派遣)

- 1) 由布市 ～ 派遣回数 1回

3. 地域リハ活動における課題・今後の展開

現在の課題としては、日田地区、豊肥地区に ST 数が少ない事と、ST を配置していない施設が多いのが現状です。それに伴い、本来の目的である「広域支援」に至っていません。ST の更なる養成も必要ですが ST 雇用にも協力をお願いします。

今後の展開として、言語障害友の会「なしかい」や高次脳機能障害家族会への協力・側方支援、およびボランティア活動として、地域でのコミュニケーションパートナーの支援・育成、啓発などの活動を推進していきます。さらに、公益活動を推進する目的で、公益社団法人化に向けた準備にも入りたいと考えています。

(公社)大分県作業療法協会

会長 高森 聖人



1. 会の現状（平成 25 年 3 月 31 日現在）

圏域	支 部 名	会員数	施設数
中部圏域	大分西支部	208	39
	大分東支部	125	35
	臼津支部	15	5
東部圏域	別杵速見支部	107	37
	国東支部	14	6
北部圏域	中津支部	33	13
	宇佐高田支部	46	12
西部圏域	日田玖珠支部	29	12
豊肥圏域	大野支部	32	10
	竹田支部	26	6
南部圏域	佐伯支部	48	12
自 宅 会 員		27	-----
計		710	187

2. 地域リハ関連の活動・取り組み

1) リハビリテーション相談窓口

平成 24 年 6 月 16 日（日） 大分県作業療法協会ビル
リハビリテーション相談、パンフレット配布など

2) 作業療法一日体験

平成 24 年 7 月～ 8 月 会員所属施設 51 施設 県内高校生 102 名
作業療法体験、見学など

3) 作業療法フェスタ 2012

平成 24 年 8 月 19 日（日） イオン パークプレイス大分店
親子・こども作業療法体験、絵てがみ作成、高齢者・障害者疑似体験、
福祉用具体験・展示、リハビリテーション・認知症相談
参加数約 600 名

4) 「第 13 回大分県保健医療団体協議会げんきフェア」作業療法コーナー設置

平成 24 年 9 月 9 日（日） 豊の国健康ランド
フォト・メモスタンド作成体験、リハビリテーション相談、パンフレット配
布など
体験数約 100 名（大会規模約 2,000 名）

5) 「作業療法の日」公開講座

テーマ「健康寿命を延ばすために—いつまでも動ける心と体づくり—」
平成 24 年 10 月 14 日（日） 大分県作業療法協会ビル
参加数 11 名

- 6) 「春日まつり」作業療法コーナー設置
 平成 24 年 11 月 11 日（日） 大分市立王子中学校体育館
 フラッグ作成（作業活動体験）、リハビリテーション・認知症相談、
 パンフレット配布など
 体験者約 130 名（大会規模約 2,000 名）
- 7) 作業療法ミニフェスタ in 三重「ふるさとまつり」
 平成 24 年 11 月 11 日（日） 豊後大野市大原総合体育館（フレッシュラン
 ド三重）
 フラッグ作成（作業療法体験）、リハビリテーション・認知症相談、
 パンフレット配布など
 体験者約 130 名（大会規模約 2,000 名）
- 8) 「西春日地区サロン」出張講座
 テーマ「健康寿命を延ばすために—いつまでも動ける心と体づくり—」
 平成 24 年 12 月 9 日（日） 大分県作業療法協会ビル
 参加数 16 名
- 9) 「リレー・フォー・ライフ 2012in 大分」参加
 平成 24 年 9 月 15 日（土）～ 16 日（日） 大分スポーツ公園大芝生広場
 参加数 51 名（会員 37 名、家族・作業療法学生等 14 名）
- 10) 広報誌「伝 DEN」の発行
 No.7（平成 24 年 7 月）、No.8（平成 24 年 11 月） 各 2,000 部
 県内市町村、県内高等学校、地域包括支援センター、会員所属施設、
 （一社）日本作業療法士協会、九州各県士会などに発送
- 11) 県市町村及び関連団体の各種会議・研修会等への講師・助言者等派遣
 ＊大分県地域ケア会議等多職種派遣事業
 （杵築市 24 回、豊後大野市 18 回、豊後高田市 10 回）
 ＊大分県介護予防支援指導者研修会（1 回）
 ＊訪問介護員現任研修（テーマ別技術向上研修）（9 回）
 ＊大分市保健所社会復帰支援教室（2 回）
 ＊豊後高田市乳幼児障がい早期ケア事業（4 回）
 ＊杵築市介護予防現任研修会（2 回）
 ＊豊後大野市げんき講演会（1 回）
 ＊介護予防運動機能向上プログラム機能強化研修
 （運動機能向上専門部会モデル事業）（1 回）
 ＊介護予防運動機能向上プログラム機能強化研修
 （運動機能向上専門部会モデル事業）
 九重町二次予防事業（ほほえみ教室）評価検討会（1 回）
 ＊大分県シルバー人材センター連合会 訪問介護員 2 級養成研修（6 回）
- 12) 地域リハ関連諸団体との連携
 ＊大分県老人福祉計画策定協議会 委員
 ＊大分県リハビリテーション協議会 委員
 ＊大分県リハビリテーション支援センター連絡協議会 委員
 ＊地域リハビリテーション広域支援センター連絡協議会 委員
 ＊大分県脳卒中回復期・維持期等地域連携推進協議会 委員
 ＊大分県障がい者体育協会ジュニア育成委員会 委員

- *大分県保健医療団体協議会 会員
- *大分県地域リハビリテーション研究会 会員
- *大分県高次脳機能障がい連絡協議会 会員
- *大分県高次脳機能障がい相談支援体制連携調整委員会 委員
- *大分県地域包括ケア研究会 世話人

3. 地域リハ活動における課題・今後の展開

公益社団法人に移行した平成 24 年度は、地域リハビリテーションの一層の推進と作業療法の啓発・普及による県民の保健医療福祉の増進を目的とした事業の拡大充実を図った。特に、地域包括ケアシステムの構築に向けた様々な動きに関しては、(一社)日本作業療法士協会が進めている「生活行為向上ケアマネジメント」の普及を重要課題の一つとし、関連する研修会を複数回行うとともに、県学会においても取り上げ、会員への周知を図った。「生活行為向上マネジメント」は、作業療法が障害者や要介護高齢者にのみ提供されるものではなく、一般の方々の健康増進に役立つものであることを示す一助となるものであり、今後は他職種や一般の方に「生活行為向上マネジメント」を知ってもらうことが課題である。

また、一部の市において地域ケア会議が開催されており、介護予防事業等を含め、当協会は助言者や講師の推薦・派遣という形で関わっている。今後、地域ケア会議を開催する市町村の増加に合わせ、他の専門職種と協力して適切な助言ができる人材の確保、育成に努めたい。

(社) 大分県歯科医師会

会長 長尾博通



1. 会の現状

会員数：624名（平成25年5月現在）

地域福祉委員会が介護保険、高齢者・障がい者歯科保健、在宅歯科医療、医療連携の関連分野を担当し活動を行っている。

2. 地域リハ関連の活動・取り組み

*高齢者のよい歯のコンクール

口腔の衛生管理に努力し80歳で20本自分の歯を保持している健康な方を表彰することで、口腔の健康の重要性を県民にアピールする。

昨年度の第19回高齢者のよい歯のコンクールでは優秀賞5名、優良賞10名を選出し表彰した。

*老人保健施設訪問歯科保健事業

老人保健施設・福祉施設を大分県歯科衛生士会と大分県歯科技工士会と共に訪問し、入居者の歯科医師による口腔内検診、歯科衛生士による歯科保健指導や口腔ケア、歯科技工士による義歯のネーム入れを行う。また、施設関係者と入所者の口腔衛生管理の問題点を話し合う。24年度は、「宇佐市立特別養護老人ホーム妙見荘」を訪問した。

*障がい者施設訪問歯科保健事業

障がい者施設を大分県歯科衛生士会と共に訪問し、入居者の歯科医師による口腔内検診、歯科衛生士による「お口の健康体操」などの歯科保健指導や口腔ケアを行う。平成24年度は、「日出町の大分県溪泉寮」、「宇佐市のサポートネットすまいる」、「挾間町の大分県のぞみ園」の3施設を訪問した。「サポートネットすまいる」では歯科講話を実施した。

*介護保険対応歯科保健研修会の開催

介護の中での歯科保健を視野に入れた講演会である。会員だけでなく介護施設にも案内状を送っており、施設職員を中心に他職種の方の参加も仰ぐ。24年度の研修会では、歯科の役割を広げ、多職種との共通言語となる「ロンリーマウスシンδροーム」という新しい概念をキーワードに行われた。講師は鶴見大学歯学部高齢者歯科講座の菅武雄氏。参加者は154名であった。

*障がい者歯科保健研修会の開催

第1回目となる研修会は、福岡歯科大学成長発達歯学講座障害者歯科学分野の

小島寛教授を講師に招いた。新たな視点での障がい児への行動調整法をご教示いただき、地域の歯科医師が、障がい者歯科に取り組めることを目的とした。参加者数は112名であった。

＊口腔機能回復支援指導者養成研修会

通院することが困難な在宅の患者に対し肺炎を直接引き起こす摂食・嚥下障害に対応できる歯科医師を育成するために実施した。

アセスメント・スクリーニングテスト講義、VEマネキン実習、VE相互実習を実施した。多数の症例検討を行うことで実際の臨床を体感してもらった。県下の歯科医師会員36名が受講した。

＊各種委員会、協議会、研修会への参加

- ・大分県リハビリテーション協議会
- ・大分県リハビリテーション研究会
- ・大分県介護予防市町村支援委員会
- ・豊の国8020運動推進協議会
- ・大分県在宅歯科診療検討部会
- ・大分県へき地医療対策協議会
- ・大分県がん対策推進協議会 等

3. 地域リハ活動における課題、今後の展開

超高齢社会において、歯科治療を必要とする高齢患者は有病者であることが多い。高齢者の抱える慢性疾患の多くは、糖尿病、高血圧症など、食事療法を必要とする。よって、良好な口腔機能作りが基本であり、今後は、より緊密な医科歯科連携が必要となる。歯科医師会員に対して、この重要性を周知させると共に有病者に対しての全身疾患をはじめとする知識を研鑽する機会を今以上に設ける必要がある。また、今年度より大分大学医学部附属病院と大分県歯科医師会は、「がん患者医科歯科医療連携事業」を開始する。これを機に、医科をはじめ多職種の方に対して、良好な口腔状態が、有病者のQOLの向上に有効であると、発信することが今後の展開となる。

(一社) 大分県歯科衛生士会

会長 有松ひとみ



1. 会員数 210名 (平成25年5月現在)

支部	県南地区 (佐伯、津久見、臼杵)	23名
	豊肥地区 (竹田、豊後大野)	15名

2. 地域リハ関連の取り組み

I 研究大会：第1回九州歯科衛生士研究大会 (湯布院厚生年金病院との共催)

日時：平成24年12月1日2日 場所：湯布院厚生年金病院 保養ホーム
— 歯科衛生士の明日を拓く — 「つなごう！診療室・病院・地域・在宅！」
～ 口のリハビリテーション・ケア推進に向けて～

II 地域歯科衛生活動 (公益社団法人日本歯科衛生士会 委託事業)

「障がい者に寄り添う地域歯科衛生活動 西別府病院ボランティア」
内容：病院ボランティア実習、入院家族相談会 大分支援学校出前講座 等

III 主催研修会

- ① 新人研修「信頼される歯科衛生士を目指して～心を届ける接遇表現」 6/17
- ② 地域歯科保健研修会「音楽療法からの口腔ケア」 7/14
- ③ 口腔ケア研修会「診療室から始める口腔ケア」 8/26
- ④ 口腔ケア研修会：私の秘伝シリーズ (基礎編)
「歯科衛生士の口腔ケア 何をする？何を伝える？何をを使う？」 9/29
- ⑤ 障がい者研修会「重症肢体不自由児の口腔ケア」 11/18
- ⑥ 大分県委託口腔保健推進事業 研修会
「フッ化物応用を後押しするコミュニケーションスキル」 1/5
- ⑦ 歯科衛生士再就職支援リカバリーセミナー (大分県歯科医師会共催) 2/17
- ⑧ 歯周病セミナー 歯科衛生士の“力”の見せどころ (3回シリーズ)
「大切なパートナー“インスツルメント”を深く知り大切に使おう」 1/6
「歯磨きおばさんで終わらないために歯周病を理解しよう」 3/9
「患者様と自身を守るインスツルメンテーション」 3/10

IV 後援・協力研修会

- ① 第9回大分県リハビリテーション支援センター
大分県地域リハビリテーション研究会合同研修会 7/8
- ② 第11回12回おおいの食のリハビリテーション研究会研修会 7/15・3/3
- ③ 在宅医療連携拠点事業 プロジェクトZ 8/2・11/9・3/11
- ④ 大分県保健医療団体協議会 第13回元気フェア 9/9

- ⑤大分地域リハビリテーション・ケア研究会研修会 10/28
 ⑥第5回九州山口口腔ケアシンポジウム in FUKUOKA 11/17・18

V 講師派遣【抜粋】

- ①県内の市町村の母子事業、地域支援事業
- ②障がい児（者）施設の口腔保健教室
- ③大分県社会福祉介護研修センターの介護教室・摂食・嚥下セミナー
- ④中部圏域地域リハビリテーション広域支援センター研修会
- ⑤公益社団法人大分県看護協会 教育研修会

VI 会議出席【抜粋】

- ①地域リハビリテーション関係
 - ・大分県地域リハビリテーションセンター広域支援センター
（北部、東部、中部、豊肥、南部県域）
 - ・大分県地域リハビリテーション研究会
 - ・大分県地域包括ケア研究会
- ②行政関係
 - ・大分県 8020 運動推進協議会
 - ・大分県在宅歯科診療検討部会
 - ・大分県口腔機能向上栄養専門部門部会
 - ・大分県地域包括ケア関連会議
 - ・大分県障がい児(者)歯科保健検討部会
 - ・各保健所地域歯科保健検討会
 - ・各保健所地域在宅歯科診療検討協議会
 - ・大分市及び別府市母子保健小委員会

VII 大分県歯科医師会(協力) 高齢者、障がい者施設訪問事業

- ①平成 24 年 6 月 3 日 歯の健康広場 (大分市)
- ②平成 24 年 6 月 16 日 救護施設 湊泉寮 (日出町)
- ③平成 24 年 8 月 4 日 特別養護老人ホーム妙見荘 (宇佐市)
- ④平成 24 年 9 月 2 日 サポートネットすまいる (宇佐市)
- ⑤平成 24 年 11 月 17 日 身体障害者療護施設のぞみ園 (由布市)

3. 課題・今後の展開

歯科衛生士アイデンティティの確立を目指し、歯科診療所・病院・市町村・介護老人保健施設・障がい者施設・事業所等と地域をつなぐコーディネーター役としての意識定着が重要と感じております。人材育成と資質向上を想定した研修会や多角的な情報提供を行いながら、多職種協働で連動する地域リハビリテーション理念を源流に、県民の健康増進寄与の貢献に取り組んでまいります。

大分県地域包括・総合相談・在宅介護支援センター協議会

会長 深見 憲 一

1. 会の現状

会員センター 63センター

- ・地域包括支援センター 46センター
- ・在宅介護支援センター 9センター
- ・地域総合相談支援センター 8センター

2. 主な活動・取り組み

(1) 研修会の開催

① 小地域福祉活動研修会

日 時：平成25年1月30日（水） 13：15～15：30

会 場：大分県総合社会福祉会館 4階大ホール

参加数：120名

内 容：講義「絆が希望を創り出す

～無縁の時代の絆を再構築するために～

NPO法人 北九州ホームレス支援機構 理事長 奥田 知志 氏

② 大分県地域包括・総合相談・在宅介護支援センター研修会

日 時：平成25年2月2日（土） 10：00～15：00

会 場：大分県総合社会福祉会館 4階大ホール

参加数：38名

内 容：講義・演習「地域包括・在宅介護支援センターにおける

災害時の対応について～発災から復興、日常の取り組みについて～

石巻市社会福祉協議会 災害復興支援対策課

石巻市ささえあい総括センター 所長 北川 進 氏

③ 地域住民支援技術研修会

【対人援助技術編】

日 時：平成25年2月13日（水） 9：30～16：00

会 場：大分県総合社会福祉会館 4階大ホール

参加数：36名

内 容：講義・演習「価値と倫理を根底に置く対人援助技術について」

社団法人 大分県社会福祉士会 会長 和田 亮二 氏

【地域住民支援技術編】

日 時：平成25年2月20日（水）9：30～16：00

会 場：大分県総合社会福祉会館 4階大ホール

参加数：36名

内 容：講義・演習「地域住民支援技術

（コミュニティソーシャルワークの基礎）について」

首都大学東京 都市教養学部 准教授 室田 信一 氏

(2) ブロック活動

各市町村ブロック組織での研修会や会議等の活動に対する支援

3. 情報提供及び調査研究

(1)他機関が実施する各種研修会への参加案内

- ① 大分県リハビリテーション支援センター・
大分県地域リハビリテーション研究会合同研修会
- ② 社会福祉士実習指導者講習会について
- ③ 大分県地域リハビリテーション研究会研修会
- ④ 大分県高次脳機能障害リハビリテーション講習会
- ⑤ 大分県排尿リハビリテーション・ケア研究会 等

4. 関係機関・団体との連携

(1) 県内関係機関・団体との連携

- ①大分県リハビリテーション支援センター拡大運営会議への出席
- ②大分県認知症施策推進会議への出席
- ③大分県ボランティア・市民活動センター運営委員会への出席
- ④大分県脳卒中回復期・維持期等地域連携推進協議会への出席

(2) 県との協調・支援

- (3) 全国地域包括・在宅介護支援センター協議会、九州ブロック地域包括・在宅介護支援センター協議会との協調・支援

5. 九州ブロック地域包括・在宅介護支援センター協議会セミナー

日 時：平成24年11月15日（木）～16日（金）

会 場：くまもと森都心プラザ（熊本市）

参加数：208名（23名）

内 容：基調講演「地域包括ケアの推進に向けた地域包括支援センター・
在宅介護支援センターの役割について」

厚生労働省老健局振興課 課長補佐 岡島 さおり 氏

基調報告 「地域包括・在宅介護支援センター協議会としての
今後の戦略」

全国地域包括・在宅介護支援センター協議会
会長 青木 佳之 氏

シンポジウム 「認知症ケアと地域ネットワークづくり」

座 長：
熊本県地域包括・在宅介護支援センター協議会
副会長 鴻江 圭子 氏

コーディネーター：
公益社団法人 認知症の人と家族の会 副代表 勝田 登志子 氏

パネリスト：
名護市在宅介護支援センターみやざと 責任者 上地 修 氏
在宅介護支援センター桂寿苑 介護支援専門員 青木 隆士氏
由布市地域包括支援センター 主任介護支援専門員
細岡 さい子 氏

講演Ⅰ 「認知症と地域包括ケア」

国立長寿医療研究センター 内科総合診療部長 遠藤 英俊 氏

講演Ⅱ 「当院における認知症ケアの取り組み」

デイケア施設かなりあ 事務長 松田 ヒトミ 氏

大分県地域リハビリテーション研究会

会長 武居光雄



1. 会の現状

会 長：武居光雄 副会長：三浦晃史、平岡 賢 幹 事：各団体より代表者 1 名

監 事：本田昇司、河野俊貴 顧 問：佐竹孝之、森 照明、原田禎二

名誉顧問：有田 眞

所属団体：16 団体

大分県地域リハ医師懇話会	(公社)大分県理学療法士協会	(公社)大分県作業療法協会
(公社)大分県栄養士会	(公社)大分県看護協会	(公社)大分県薬剤師会
(公社)大分県放射線技師会	(公社)大分県臨床工学技士会	(社)大分県臨床検査技師会
(社)大分県歯科医師会	(一社)大分県言語聴覚士協会	(一社)大分県介護福祉士会
(一社)大分県歯科衛生士会	大分県臨床心理士会	大分県介護支援専門員協会
大分県医療ソーシャルワーカー協会		

2. 平成 24 年度 活動報告

①第 9 回大分県リハ支援センター・大分県地域リハ研究会合同研修会の開催

日 時：平成 24 年 7 月 8 日(日)

会 場：別府ビーコンプラザ 国際会議室

参加数：277 名

シンポジウム

テーマ：『大分県の包括ケアシステムの構築を目指して』

司 会：大分県地域リハビリテーション研究会 会長 武居光雄

発表①大分県福祉保健部 高齢者福祉課 参事 前田耕作氏

発表②大分県杵築市役所 高齢者支援課 介護保険係長 江藤 修氏

発表③国東市「ホットネット」事務局 伊藤大観氏

(老人保健施設 ウェルハウスしらさぎ 看護介護部長)

②平成 24 年度大分県地域リハビリテーション研究会研修会の開催

日 時：平成 24 年 10 月 28 日(日)

会 場：別府ビーコンプラザ 国際会議室

参加数：145 名

テーマ：『地域包括ケア、私たちにできること

～脳卒中を通じて職種間連携を考える～』

(1)司 会：大分県臨床心理士会 羽坂雄介

発表者：【予防期】(社)大分県臨床検査技師会 野中恵美

【急性期】(一社)大分県言語聴覚士協会 梶原 寛

(公社)大分県放射線技師会 末吉聖二

(2)司 会：(公社)大分県理学療法士協会 竹村 仁

発表者：【回復期】(公社)大分県作業療法協会 小石鉄兵

大分県医療ソーシャルワーカー協会 割石高史

【生活期】(公社)大分県薬剤師会 松尾成真

③名義後援

由布ケアネットあらかし合同研修会(平成 24 年 9 月 16 日)

第 30 回大分県病院学会(平成 24 年 11 月 11 日)

第 17 回九州ブロック大会 in おおいた(平成 24 年 11 月 16 日・17 日)

第 1 回九州歯科衛生士研究大会(平成 24 年 12 月 1 日・2 日)

④広報誌の発行

第 19 号：印刷部数 500 部(平成 25 年 3 月 31 日発行)

⑤運営部会の開催

第 1 回：平成 24 年 4 月 24 日(火)

第 2 回：平成 24 年 5 月 21 日(月)

第 3 回：平成 24 年 6 月 19 日(火)

第 4 回：平成 24 年 7 月 30 日(月)

第 5 回：平成 24 年 8 月 27 日(月)

第 6 回：平成 24 年 9 月 24 日(月)

第 7 回：平成 24 年 10 月 16 日(火)

第 8 回：平成 24 年 12 月 17 日(月)

第 9 回：平成 25 年 3 月 4 日(月)

⑥役員会の開催

第 19 回：平成 24 年 5 月 29 日(火)

第 20 回：平成 25 年 3 月 18 日(月)

3. 地域リハ活動における課題・今後の展開

今後は、地域包括ケアシステムの構築及び具体的な運営に向け、今まで以上の多職種間の相互理解と連携が必要となります。その為にも、本年度開催予定の第 5 回リハ・ケア研究大会を充実したものにし、地域リハ研としてやるべきことを明確にして、地域包括ケアシステムの構築や円滑な運営に向け活動していきたいと考えています。

(一社) 大分県病院協会

会長 川 篤 眞 人



I. 病院協会の現状(H25.3.31 現在)

- (1) 会員数 128 病院
会 長 川 篤 眞 人 (川 篤 整形外科病院)
副会長 松本 文六 (天心堂へつぎ病院)
副会長 畑 洋 一 (畑 病院)
- (2) 支部構成 地区毎の理事、及び所属病院数
県北(所属病院数 24-理事:佐藤仁一、瀧上 茂)
別杵(所属病院数 23-理事:黒木健次、山本記顯)
大分(所属病院数 47-理事:武居光雄、中村太郎、井野邊純一、帆秋善生)
久大(所属病院数 20-理事:山本 亨、後藤憲文)
豊肥(所属病院数 4-理事:大久保 健作)
県南(所属病院数 10-理事:小寺 隆、曾根 勝)
- (3) 監事 豊田貫雄、長松宜哉
- (4) 名誉会長:井野邊 義一、顧問:岡 宗由、参与:野口 志郎

II. 事業計画(重点項目)

- 1) 医の倫理とリスクマネジメントの高揚
- 2) 各病院の診療機能と質の向上
- 3) 行き届いた患者サービスの向上と思いやりのある医療を目指す
- 4) 各病院の IT 化と IT ネットワーク情報システムの構築
- 5) 患者中心の連携システムの向上
- 6) 地域リハビリテーションの推進
- 7) 病院機能評価への挑戦と対応
- 8) 各種研修会による全病院職員の質的、能力的向上、責任をもって仕事を遂行する意欲の向上
- 9) 会員相互の親睦と信頼性、連帯感の向上
- 10) 来るべき大災害に対して十分に備える医療
- 11) 地域包括ケアシステムの構築

III. 病院協会活動報告(以下総会資料より抜粋)

- (1) 平成 24 年度一般社団法人大分県病院協会定時社員総会

開催日時 平成 24 年 6 月 2 日土曜日 午後 2 時

場 所 大分第一ホテル 8F 九重 (大分市府内町 1-1-1)

- ・創立 60 周年記念式典 参加数 82 名
- ・創立 60 周年記念講演 参加数 106 名

演 題 「東アジアの時代と日本の針路

～グローバル化のなかの外交・経済・医療システムを考える～」

講 師 手嶋 龍一先生 (外交ジャーナリスト・作家)

(2)理 事 会 計 6 回開催

(3)第 30 回大分県病院学会 実行委員会 計 2 回開催

第 30 回大分県病院学会 運営委員会 計 10 回開催

(4)第 30 回大分県病院学会

学会テーマ 「中小病院の明日を考える ～更なる患者中心の医療を～」

日 時 平成 24 年 11 月 11 日(日) 8:45～16:00

場 所 別府市山の手町 ビーコンプラザ

参加内訳(概数) 医師 64 名 事務部会 422 名 看護部会 1,133 名

栄養部会 100 名 医療技術部会 470 名 社会福祉部会 155 名

その他 298 名 計 2,642 名

特別講演 I

演 題 「医療経営のパラダイムシフト

～経営の効率化、地域包括ケア・地域連携のための情報戦略を考える～」

講 師 神野 正博 先生 全日本病院協会副会長

社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院理事長

特別講演 II

演 題 「医療従事者個々に求められる医療安全のコンセプト」

講 師 大川 淳 先生 東京医科歯科大学大学院 整形外科学教授

医学部附属病院院長補佐 (安全管理担当)

分科会 演題総数 172 題 (口演 64 題 ・ ポスター108 題)

(5)その他の会議

・九州 4 県(福岡、長崎、熊本、大分)病院団体長調整会議

開催日時 平成 24 年 8 月 31 日

・第 18 回四県病院協会連絡協議会

開催日時 平成 25 年 1 月 25 日

(6)研修会への名義後援等

・大分県地域リハビリテーション・ケア研究大会

・高次脳機能障害リハビリテーション講習会

・大分県老人保健施設大会 他

IV. 部会活動報告

1. 平成 24 年度 事務部会事業報告

(1)研修会

1) 平成 24 年度事務部会・社会福祉部会 合同研修会開催

- ・平成 24 年 4 月 27 日（金）13：00～17：00
- ・開催場所：大分県医師会館 7 階大会議室
- ・参加数：156 名
- ・テーマ：1. 平成 24 年度診療報酬・介護報酬改定について（Q&A含む）
2. 今後の病院経営について
3. その他
- ・講師：村上 佳子（メディカル 21 代表）

2) 平成 24 年度第 2 回事務部会研修会開催

- ・平成 25 年 1 月 18 日（金）14：00～16：00
- ・開催場所：大分県医師会館 6 階研修室
- ・参加数：87 名
- ・テーマ：「労務管理と安全配慮義務について」
 - パワーハラスメント等メンタルヘルス対策
 - 労働時間の管理
- ・講師：田吹 好美（翔労働衛生コンサルタント事務所所長
・ 労働衛生コンサルタント 1 級交流分析士）

(2)委員会 計 2 回 開催

2. 平成 24 年度看護部会事業報告

(1) 研修会

1) 平成 24 年度第 1 回 看護部会研修会開催

- ・平成 24 年 7 月 28 日（土）13：30～15：30
- ・開催場所：大分県医師会館 7 階大会議室
- ・参加数：117 名
- ・テーマ：「先輩ナースたちへ！！ 支えて 教える コミュニケーション」
- ・講師：上野 行良（福岡県立大学人間社会学部教授）

2) 平成 24 年度第 2 回 看護部会研修会開催

- ・平成 24 年 9 月 8 日（土）13：30～15：30
- ・開催場所：大分県医師会館 7 階大会議室
- ・参加数：153 名
- ・テーマ：「看護師の常識、非常識 ～ 臨床をちょっと外から覗いてみると...」
- ・講師：春馬 こうめ（「師長主任業務実践」コラムニスト&看護師）

(2) 委員会 計 3 回開催

3. 平成 24 年度 栄養部会事業報告

(1) 研修会

1) 平成 24 年第 1 回 栄養部会研修会開催

- ・平成 24 年 6 月 9 日（土）13：00～17：00
- ・開催場所：大分県医師会館 6 階研修室 I
- ・参加数：148 名
- ・一般演題 I：「外来における早期腎症患者への療養指導の効果」
- ・講師：和田 光代（天心堂へつぎ病院 管理栄養士）
- ・一般演題 II：「チーム医療の中で発揮できる栄養士の力」
- ・講師：堅山 恵子（佐伯中央病院 管理栄養士）
- ・特別演題 I：「診療報酬改定による栄養業務の変化」
- ・講師：中野 真司（大分厚生局 審査課長）
- ・特別演題 II：「CKD に関する基礎知識及び腎臓病患者（主に透析患者）の栄養・電解質管理について」
- ・講師：岩下 智彦（天心堂へつぎ病院 腎臓内科部長）

2) 平成 24 年度第 2 回 栄養部会研修会開催

- ・平成 24 年 9 月 15 日（土）13：00～17：00
- ・開催場所：大分県医師会館 6 階研修室 I
- ・参加数：112 名
- ・一般演題 I：「MNA-SF を用いた栄養評価の検討」
- ・講師：矢須田 侑平（豊後大野市民病院 管理栄養士）
- ・一般演題 II：「経管栄養中の難治性下痢に対するココアの有用性と注意点」
- ・講師：飯塚 升美（佐賀関病院 看護師）
- ・特別演題 I：「便秘や下痢と整腸効果の高い乳糖オリゴ糖について」
- ・講師：山根 由弘（㈱H+Bライフサイエンス岡山本部 学術部部長）
- ・特別演題 II：「肝硬変の栄養治療～分岐鎖アミノ酸を使いこなすために～」
- ・講師：鈴木 壺知（獨協医科大学越谷病院 消化器内科 准教授）

3) 平成 24 年度第 3 回 栄養部会研修会開催

- ・平成 25 年 2 月 9 日（土）13：30～17：00
- ・開催場所：大分県医師会館 6 階研修室 I
- ・参加数：78 名
- ・一般演題 I：「栄養手帳を用いた在宅高齢者の栄養管理への取り組み」
- ・講師：平池 妙子（大久保病院 管理栄養士）
- ・一般演題 II：「当院の NST 活動の現状」
- ・講師：金澤 孝浩（大分岡病院 管理栄養士）
- ・特別演題：「周術期の栄養管理について」
- ・講師：岩坂日出男（大分市医師会立アルメイダ病院 麻酔科部長）

(2)委員会 計 4 回開催

4. 平成 24 年度社会福祉部会事業報告

(1) 研修会

1) 平成 24 年度事務部会・社会福祉部会 合同研修会開催

- ・平成 24 年 4 月 27 日（金）13：00～17：00
- ・開催場所：大分県医師会館 7 階大会議室
- ・参加数：156 名
- ・テーマ：1. 平成 24 年度診療報酬・介護報酬改定について（Q&A含む）
2. 今後の病院経営について
3. その他
- ・講師：村上 佳子（メディカル 21 代表）

2) 平成 24 年度後期研修会開催

- ・平成 25 年 2 月 9 日（土）14：00～16：30
- ・開催場所：アステム大分本社 4 階 大会議室
- ・参加数：40 名
- ・テーマ：「障がい者自立支援を学ぶ」
- ・第 1 部講師：後藤 剛・岡崎 智美（大分市福祉保健部障害福祉課）
- ・第 2 部講師：青山 昌憲（別府リハビリテーションセンター
障害者生活支援センター相談支援専門員）

(2) 委員会 計 6 回開催

V. 地域リハ活動における課題・今後の展開

地域リハビリテーションを担う病院のほとんどが大分県病院協会に所属しており、様々な観点からお手伝いできると考えています。病病連携、病診連携を通じて地域リハビリテーション、さらには地域包括ケアシステムの構築に向けて協力して行きたいと思えます。

(公社) 大分県放射線技師会

会長 江藤 芳浩



I 会の現状

会員数:347名(平成25年3月31日現在)

II 地域リハ関連の活動

1. (公社)大分県放射線技師会第15回学術大会

平成24年10月27日(土) 大分県看護研修会館「第一研修室」

テーマ 「最適な胸部撮影法と画像管理～見落とさない画像を提供するために～」

テーマ講演 1.「いまさら聞けない胸部単純撮影と胸部画像の見方」

2.「胸部デジタル画像の管理 ～最適な画像処理とモニター管理～」

3.「撮り方で変わる胸部CT画像 ～患者、病態に合わせた撮影法～」

特別講演「胸部画像の読み方 ～肺炎の病態生理と画像の特徴～」

大分大学医学部臨床医学系 放射線医学講座 講師 岡田文人 先生

2. (公社)大分県放射線技師会第16回学術大会

平成25年3月2日(土)

テーマ講演「求められる膝関節画像と撮影法～見落とさない画像を提供するために～」

1.「膝関節のX線撮影法」

2.「膝関節MRIの撮像法」

特別講演「放射線画像は大いに膝関節疾患の治療に貢献している」

新別府病院 副院長 泊 一秀 先生

3. 第9回 大分県リハビリテーション支援センター・大分県地域リハビリテーション研究会

合同研修会への参加

日時:平成24年7月8日

4. げんきフェア

平成24年9月9日(日)、豊の国健康ランドにて、大分県保健医療団体協議会10団体による各団体の活動紹介、県民の健康増進を目的としたイベントを実施した。

5. レントゲン週間イベント

平成24年10月28日(日)、ジャスコパークプレイス大分店にて開催した。内容は、大分県栄養士会による栄養指導、3Dワークステーションを用いた画像診断の体験、乳がん検診および放射線被ばく関連のパネル展示、被ばく相談、体内脂肪測定、骨密度測定など行い県民との対話を目的に開催した。

6. 大分県地域リハビリテーション研究会

平成24年度第1回大分県地域リハビリテーション研究会研修会への参加

平成24年10月28日(日) 別府市ビーコンプラザ

シンポジスト「地域リハにおける各職種の連携の必要性～脳卒中患者を通して～」

「急性期部門」発表 別府リハビリテーションセンター 末吉聖二

7. 学校訪問事業

平成 24 年 12 月 19 日、大分リハビリテーション専門学校へ訪問授業を行った。
授業テーマ「リハビリスタッフに知ってほしい画像知識」

Ⅲ. 地域リハ活動における課題・今後の展開

【研究課題】

1. 体の動きの悪い患者さんに対して、患者さんの負担軽減と必要な診断情報を得るための撮影技術ならびに撮影補助具に関する研究
2. 骨密度検査の精度等についての研究
3. CT を使用した内臓脂肪測定の精度についての研究
4. 嚥下造影撮影の工夫、改善
5. 高次脳機能障害、整形分野に関する画像検査法の研究と読影補助
6. 整形分野、関節リウマチの MRI、CT、US 検査法の研究
7. 脳梗塞、心筋梗塞の予防に貢献するため、頸動脈 US 検査に関する研究。

【連携】

1. リハビリの機能評価と画像情報の関連について他職種と連携を行い、患者さんの治療効果につながるような検査方法を模索する。
2. 骨密度測定、内臓脂肪測定を行う立場から転倒予防教室など、医療施設での活動に積極的に参画する。
3. 広域支援センターの診療放射線技師へ活動の協力を依頼する。
4. チーム医療を担う専門職種として他職種との連携を進め、診療放射線技師としての専門的役割を果たす。

(公社) 大分県薬剤師会

会長 安東 哲也



1. 会の現状

会員数 1,435名(平成25年5月1日現在)

2. 活動内容

平成25年4月から今後5年間にわたる都道府県による新たな医療計画がスタートします。4疾病(がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病)に精神疾患が追加され、5事業(救急・災害・へき地・周産期・小児)とは別に、在宅医療の医療連携体制の構築が加わりました。また、高齢化が進む中2025年に、どこに住んでいても適切な医療・介護サービスが受けられる社会を実現するための「地域包括ケアシステム」の構築が進められており、薬剤師が積極的に地域医療に関わっていくことが求められています。

このようなことから当会は、平成24年度事業の一環として主に社会福祉委員会(委員長酒井浩一氏)が中心となり、多職種の先生方を招聘し、研修会を下記のとおり開催するとともに、高齢化への対応として地域における在宅医療提供体制の確保の観点から無菌調剤室による薬局間の共同利用体制を構築するため4地域(豊後高田(たかだ調剤薬局)・佐伯市(トキワ町調剤薬局)・別府市(別府市薬剤師会)・大分市(O.P.A 薬局・大分市会営東野台薬局))にがん患者等を対象とした中心静脈栄養・抗がん剤及び緩和医療に用いる麻薬の持続注入等の在宅医療において必要な無菌調剤室を整備いたしました。

今後、超高齢化社会における地域医療活動においては、多職種との連携は必要不可欠であり、そのためにも薬剤師職能を周知するとともに、多職種の職能を熟知することが肝要であり、そのための研修会等を開催していく所存です。

3. 研修会の開催(開催場所はいずれも於 大分県薬剤師会館)

①日時：平成24年8月18日

講師：特老・美晴が丘施設長 伊藤 寿和子先生

演題：「地域連携ケアシステムと薬剤師」

②日時：平成24年10月27日

講師：杉谷診療所医師 井上 雅公先生

演題：「認知症対策を契機とした地域ネットワーク作りと在宅医療」

③日時：平成24年12月13日

講師：臼杵市医師会立コスモス病院 MSW 野上 美智子先生

演題：「これからの医療連携—MSW から薬剤師の期待」

④日時：平成 25 年 2 月 23 日

講師：栃木県薬剤師会副会長 大澤 光司先生

演題：「在宅医療における薬剤師の素敵な役割～多職種との関わり方～」

(公社) 大分県理学療法士協会

会長 河野 礼治



平成 24 年度は、大分県理学療法士協会は創立 40 周年をむかえた節目の年度となりました。当協会では 23 年度に大分県の全域にて地域リハビリテーションに関する活動が行うことができ、24 年度はさらに充実した活動へと展開することができました。今後さらなる公益事業の推進を図ってまいりたいと考えています。

I. 会の状況

- (1) 会員数：1,120 人
- (2) 支部構成：県内 6 ブロック（大分、別杵速見、県北、県南、久大、豊肥）

II. 地域リハ関係の活動

[1] 地域医療、地域保健及び社会福祉への協力に関する事業

1. 第 8 回介護予防キャラバン テーマ「介護予防の視点から理学療法士の考える脳卒中の体操」

- ①農村環境改善センター（豊後大野市）
日 時：平成 25 年 3 月 5 日（火）19：00～21：00
対 象：施設職員 参加数 36 名
- ②ライフホームひさと（豊後大野市）
日 時：平成 25 年 3 月 6 日（水）18：30～20：30
対 象：施設職員 参加数 30 名
- ③竹田医師会病院（竹田市）
日 時：平成 25 年 3 月 9 日（土）13：30～15：30
対 象：施設職員及び近隣施設職員 参加数 17 名

2. 第 16 回介護支援キャラバン

テーマ「リハビリテーション介護の提案一起居・移乗の介助法一」

- ①大分三愛メディカルセンター（大分市）
日 時：平成 24 年 10 月 14 日（日）10：00～12：00
対 象：近隣施設職員 参加数 28 名
- ②創生園（中津市）
日 時：平成 24 年 10 月 19 日（金）19：00～21：00
対 象：近隣施設職員 参加数 13 名
- ③花月園（日田市）
日 時：平成 24 年 11 月 29 日（木）19：00～21：00
対 象：施設職員 参加数 48 名
- ④花月園（日田市）
日 時：平成 24 年 12 月 12 日（水）19：00～21：00
対 象：施設職員 参加数 33 名

3. 公開講演（対象 一般県民）

①ヘルスプロモーション研修会

日 時：平成 25 年 1 月 27 日（日）

会 場：コンパルホール 304 会議室（大分市）

テーマ：糖尿病のリハビリテーション～もしかしたらあなたも糖尿病かも～

講 師：大分大学医学部附属病院 管理栄養士 足立 和代 先生

中村病院 理学療法士 黒木 晃一郎 氏

対 象：一般県民 参加数 31 名

共 催：公益社団法人 大分県栄養士会

②疼痛解消法 公開講座

日 時：平成 24 年 9 月 2 日（日）10：30～12：00

会 場：佐伯市保健福祉総合センター 第 1 会議室

テーマ：「ひざ痛解消法」

講 師：公益社団法人 大分県理学療法士協会 会長 河野 礼治 氏

参加数：52 名（会員 1 名）

③理学療法啓発公開講演

日 時：平成 25 年 2 月 17 日（日）日出町保健福祉センター

テーマ：「やってみよう骨盤底筋体操～理学療法士のはなすトイレの話～」

講 師：別府リハビリテーションセンター 理学療法士 毛井 敦 氏

参加数：日出町民 30 名

④理学療法啓発公開講演

日 時：平成 24 年 11 月 16 日（金）臼杵市医師会立コスモス病院

テーマ：「転倒予防について」

講 師：池邊整形外科病院 尾方英二 氏

参加数：34 名（会員 22 名、会員外 12 名）

⑤介護支援事業協力会員養成講座（テーマ：起居・移乗動作介助法）

1 回目：平成 24 年 6 月 27 日（水）19：00～21：00

会 場：新別府病院（別府市）

対 象：支援キャラバン協力部員 参加数 26 名

2 回目：平成 24 年 7 月 25 日（水）19：00～21：00

会 場：新別府病院（別府市）

対 象：支援キャラバン協力部員 参加数 21 名

4. 災害時支援の構築

①災害ボランティア研修会

日 時：平成 24 年 10 月 18 日（木）

会 場：井野辺病院 4 階会議室（大分市）

テーマ：「大分県における災害ボランティア活動について」

講 師：大分県社会福祉協議会 大分県ボランティア・市民活動センター 村野淳子 先生

参加数：93 名（会員 93 名）

②大分県災害ボランティアネットワークへの登録

[2] 行政等他組織の事業への協力・支援

1. 訪問介護員養成講座等への講師派遣

①大分県シルバー人材センター連合会 テーマ「リハビリテーション医学の基礎知識」

6会場 6名出向

②河野文化学園 テーマ「リハビリテーション医学の基礎知識」

全4回 2名出向

③介護労働安定センター

(1) 介護職員基礎研修

テーマ「福祉用具の活用と住宅改修による自立支援」 1名出向

テーマ「リハビリテーション医療の基礎的理解」 1名出向

(2) 介護支援専門員及び介護福祉士受験対策講座

①介護支援専門員受験対策講座

②介護福祉士受験対策講座

(3) 短期専門講習

テーマ「介護職の健康管理（腰痛対策）」

テーマ「後輩指導研修 リハビリテーションとレクリエーション」

テーマ「介護職の健康管理（腰痛対策）」

テーマ「後輩指導研修 リハビリテーションとレクリエーション」

④大分県ホームヘルパー協議会 実技研修

「リハビリテーション介護の提案－起居・移乗の介助法－」

・大分県社会福祉介護研修センター2階（大分市）

日 時：平成24年12月4日（火）10：00～12：00

対 象：周辺地域ホームヘルパー 参加数16名

・ホームヘルプセンター紫雲（豊後大野市）

日 時：平成24年12月5日（水）18：30～20：30

対 象：周辺地域ホームヘルパー 参加数14名

・いずみの園地域交流ホームいずみ館（中津市）

日 時：平成25年2月20日（水）19：00～21：00

対 象：周辺地域ホームヘルパー 参加数30名

2. 大分県言語聴覚士研修会

日 時：平成24年12月2日（月）

テーマ：「言語聴覚士に必要な呼吸リハビリテーションの基礎知識」

講 師：大嶋 崇（大分リハビリテーション専門学校）

3. 第2回訪問リハビリテーション研修会

（大分県理学療法士協会・作業療法協会・言語聴覚士協会合同研究会）

日 時：平成24年12月8日（土）

4. 日出町介護支援専門員協議会研修会

日 時：平成24年5月25日（金）

テーマ：「平成24年度介護報酬改定～地域包括ケアについて～」

5. リレー・フォー・ライフ

日 時：平成 24 年 9 月 15 日（土）～16 日（日） 参加数：73 名

6. 介護認定審査会への認定委員派遣（県下 6 圏域に対して 21 名の出向者）
7. 障害者介護給付費等認定審査会委員（県下 2 圏域に対して 2 名の出向者）
8. 大分県社会福祉協議会 社会福祉施設経営指導事業（県下 4 施設に対して 4 名の出向者）
9. 別府溝部学園短期大学 テーマ「リハビリテーション」 全 2 回 2 名出向
10. 平成 25 年度各市町村の地域ケア会議への参加者の調整およびリスト作成

[3] 理学療法の知識の普及・啓発に関する事業

1. 理学療法週間の実施

期 間：平成 24 年 7 月 10 日（火）～17 日（火）

後 援：大分県、大分県社会福祉協議会、大分合同新聞社、NHK 大分放送局、
OBS 大分放送、TOS テレビ大分、OAB 大分朝日放送

①高校生対象理学療法説明会 参加数：22 校 107 名

②理学療法週間イベント

日 時：平成 24 年 7 月 8 日（日）10：00～14：00

会 場：あけのアクロスタウン、ゆめタウン別府店

内 容：①健康年齢チェック ②パネル展示

③理学療法に関する相談会 ④記念品等の配付

参加数：あけのアクロスタウン 54 名、ゆめタウン別府店 82 名

2. 大分県保健医療団体協議会「げんきフェア」

日 時：平成 24 年 9 月 9 日（土）11：30～14：30

会 場：豊の国健康ランド

内 容：①健康年齢チェック ②理学療法に関する相談会 ③記念品等の配布

参加数：50 名

[4] 地域リハビリテーションの理解と実行に向けた事業

1. 地域での連携について（継続事業）

①研修会（基調講演・活動報告）

日 時：平成 24 年 12 月 16 日（日）9：30～12：00

場 所：別府ビーコンプラザ

テーマ：「今後の地域連携の展望について」～施設連携を考える～

<1. 基調講演>

「地域連携の重要性と行政から理学療法士に望むこと」

大分県高齢者健康対策課 課長 内田 勝彦 氏

「地域連携の重要性とMSWから理学療法士に望むこと」

大分県医療ソーシャルワーカー協会 会長 野上 美智子 氏

「理学療法士間連携の現状と重要性」

（公社）大分県理学療法士協会 保健福祉部 渡邊 哲也 氏

<2. パネルディスカッション> 司会 河野 礼治 氏

参加数：63名

②地域連携の推進

内容：病期別連携ツールの周知

(モデル地域を選定し、連携ツールの活用・フィードバックを依頼)

2. ナイトセミナー開催（大分県作業療法協会と合同開催）

テーマ：「地域包括ケアシステムと地域ケア会議の実際」

日 時：平成 25 年 2 月 13 日（水）19:00～ 長門記念病院

平成 25 年 2 月 19 日（火）19:00～ 川罵整形外科病院

平成 25 年 2 月 26 日（火）19:00～ 別府リハビリテーションセンター

内 容：①地域包括ケアシステムについて（15分）

②地域ケア模擬会議[資料説明と自立支援プログラム]（90分）

参加数：2月13日（水） 32名（会員18名、会員外14名）

2月19日（火） 56名（会員28名、会員外28名）

2月26日（火）120名（会員59名、会員外6名）

参加費：無 料

3. 地域ケア会議と災害ボランティアについてブロック説明会

①県北ブロック

日 時：平成 25 年 1 月 25 日（金） 参加数：48名

②別杵速見ブロック

日 時：平成 25 年 1 月 31 日（木） 参加数：42名

③県南ブロック

日 時：平成 25 年 2 月 8 日（金） 参加数：69名

④豊肥ブロック

日 時：平成 25 年 2 月 21 日（木） 参加数：31名

⑤大分ブロック

日 時：平成 25 年 2 月 7 日（木） 参加数：61名

⑥久大ブロック

日 時：平成 25 年 2 月 6 日（水） 参加数：46名

Ⅲ. 地域リハの課題と展望

地域社会では、地域包括ケアシステムの構築が急がれ、大分県では県の事業として市町村での地域ケア会議に向けた「専門職の派遣事業」に当協会への協力依頼がありました。それらの要請に応えるべく「地域包括ケアシステム推進委員会」を設置し、派遣者の質的向上を目的とした、研修会の開催や平成 25 年 4 月からの地域ケア会議が開催される市町村に対し、県を通じて派遣者調整などをおこないました。また公益社団法人としての公益事業として介護支援・介護予防キャラバン、公開講座等、各ブロックでの公益事業も含め年々増加しています。さらに急性期・回復期・維持生活期の連携を考える研修会、地域における施設連携を考える研修会を実施致しました。今後は地域社会での理学療法士の認知に向けて質的向上を図ることを継続してまいります。

(社) 大分県臨床検査技師会

会長 佐藤元恭



1. 会の現状

会員数：625名（5月10日現在）

支部構成：大分地区、別杵地区、県北地区、県南・豊肥地区、県西地区

大分県臨床検査技師会は創立60年目を迎え、公益社団法人申請に向け準備を進めている。組織体制は事務局、学術部、組織部、企画部、経理部より成り、学術部は各学術分野を6部門23の専門分野に分け、組織部では県内を5地区に分けて定期的に学術集会や研修会を開催している。臨床検査は医療現場において、疾病の早期発見や正確な臨床診断には欠かせない業務であるが、近年、医療だけではなく、検診事業や公衆衛生、新薬の開発、予防医学などの分野でも臨床検査技師の技術が生かされている。NSTやICTなど他のメディカル・スタッフと協力のもとリハビリテーションの必要な急性期・慢性期患者に対しても積極的な関わりを持つようになってきた。

2. 地域リハ関連の活動・取り組み

①第44回大分県臨床検査学会

日時：平成25年3月10日(日)

場所：大分県立病院 3階 大講堂

特別講演：「災害時の技師会のネットワーク」

新潟県臨床検査技師会災害対策委員長、日臨技執行理事

坂西 清 氏

②ガン征圧、乳がん撲滅に関する事業

「リレー・フォー・ライフ大分2012」に参加

日時：平成24年9月15日～16日

場所：大分銀行ドーム 西側大芝生広場

内容：(1)参加会員68名によるタスキリレー及びがん患者との触れ合い

(2)企画テント“生き生き健康チェックコーナー”において「血流測定」「骨密度」「自己血糖測定指導」を実施

(3)掲示ポスターにおいて臨床検査技師とがん早期発見の役割を啓発

③エイズ・STI 予防に関する事業

日時：平成24年12月1日

場所：大分駅前、日本文理大学 NBU、菅大講堂

内容：①大分駅周辺において STI 予防啓発リーフレット、

技師会名入りファイルホルダーに入れ約1000部配布

②市民公開講演

「エイズ (AIDS) 世界と日本」講師：高田 三千尋先生
(大分記念病院 名誉理事長)

於；日本文理大学 菅記念講堂 (22号館)
参加数：108名

④学術合同講演会

日時：平成25年3月 9日

場所：レンブラントホテル

講演1：「小児がん患者とその家族への心理的支援」

広島大学 尾形 明美 先生

講演2：「生涯学習と職業技能のスキルアップ」

大分大学名誉教授 山岸 治男 先生

参加数：48名

⑤学術部主催 生涯教育講習会・勉強会

全32回 (平成24年4月～平成25年3月)

分野：生物化学・免疫分野、生理機能検査分野、微生物分野、一般検査分野、血液検査分野、輸血・移植分野、病理・細胞診分野

⑥組織部主催 生涯教育講習会・勉強会

全31回 (平成24年4月～平成25年3月)

地区：大分地区、別杵地区、県北地区、県南・豊肥地区、県西地区

地区情報交換会：15回

3. 地域リハ活動における課題・今後の展開

近年、医療団体協議会等の連携が重要となってきた。しかし、リハビリテーションと言う名称から臨床検査技師会との関わりに疑問を持つ会員が多いと思われるが、地域の中で生活し、病気になった人たちが病院（入院）だけでなく施設や自宅介護などで通院することになると、私たちとの関わりは当然繋がってくる。従来の臨床検査の多くは検診事業や病院診療における疾病の早期発見、早期診断に主眼を置いてきたが、ここ数年で疾病診断以後の慢性期、回復期に対しても、身体の状態把握などにおいて側方支援を行うことが求められるようになり、寝たきり患者の感染防御対策、慢性疾患患者の栄養状態把握、循環器患者の心肺機能把握など支援できることが明確になってきた。患者さんの背景を広い視野で観るためには、このような多団体との研修が必要だと思われる。

またデータ標準化事業の推進により、大分県の多くの施設で測定された検査値は同様の尺度で解釈できるまでとなってきている。今後は臨床検査において地域包括ケアに対応すべく介護福祉分野での貢献も考えていかなければならないと考える。

(公社) 大分県臨床工学技士会

会長 小川 一



1. (公社)大分県臨床工学技士会の現状

設立：平成 2 年 6 月 24 日
社団法人設立：平成 20 年 1 月 31 日
公益社団法人設立：平成 25 年 4 月 1 日

- (1) 正会員数 275 名 (H25.4.1 現在)
- (2) 賛助会員数 19 社

2. 大分県地域リハビリテーション関連の活動・取り組み

- (1) リハビリテーション運営会議への出席(6 回)
平成 24 年 4.5.7.9.10 月 平成 25 年度 3 月 4 日 (水) 井野辺病院
- (2) 第 9 回大分県地域リハ支援センター・大分県地域リハ研究会合同研修会
参加協力 運営・会場スタッフ 2 名派遣
平成 24 年 7 月 8 日(日) 別府ビーコンプラザ
- (3) 第 5 回大分県地域リハビリテーション・ケア研究大会 参加協力
平成 24 年 10 月 19 日(日) 別府ビーコンプラザ
- (4) 大分県保健医療団体協議会 主催 げんきフェア
平成 24 年 9 月 9 日(日) 豊の国健康ランド
- (5) 大分県保健医療団体協議会理事会への出席 5 回/年

大分県臨床心理士会

会長 大嶋美登子



1. 会の現状

正会員 190名、準会員 25名 (平成25年3月末 現在)

〔部門〕研修、子育て・発達支援、学校臨床、産業、医療保健高齢者・HIV、
被害者支援、倫理、広報、代議員、事務局

2. 地域リハ関連の活動・取り組み

(1) 会議への参加

- ・大分県リハビリテーション支援センター 第10回拡大運営会議
- ・大分県地域リハビリテーション研究会 24年度の役員会議・運営会議

(2) 研修会の参加

・一般社団法人 日本臨床心理士会 第3回 医療保健領域担当者研修会

日時：平成25年2月17日(日) 10:00~16:00

場所：大阪YMCA国際文化センター

内容：・講義「日本の医療政策—現在の動向と今後の課題・展望」

講師：松本邦愛先生(東邦大学社会医学講座 医学政策・経営科学分野)

- ・各県の取り組み報告 アウトリーチ事業に関して(高知県、山形県)
- ・日本臨床心理士会医療保健領域委員会活動報告
- ・グループ討論・報告

*参加：出口直子(別府リハビリテーションセンター)

・第1回大分地域リハビリテーション研究会研修会

日時：平成24年10月28日(日) 9:00~15:40

場所：別府ビーコンプラザ

テーマ「地域包括ケア、私たちのできること

～脳卒中を通じて職種間連携を考える～

*司会：羽坂雄介(湯布院厚生年金病院)

(3) 医療保健高齢者・HIV部門主催自主研修会

・第4回 医療現場に携わる臨床心理士の集い

日時：H24年6月30日(土) 19:00~21:00

・第5回 医療現場に携わる臨床心理士の集い

「命を考える」 2回シリーズその1 「命を迎える家族と心理臨床」

日時：平成24年11月18日(日) 9:30~12:00

場所：農協共済 別府リハビリテーションセンター 体育館研修室

内容：9:30~10:30「着床前診断・出生前診断から始まる家族の選択」

講師：上野桂子先生(セント・ルカ産婦人科クリニック)

10:45～12:00「赤ちゃんのICU（NICU）から」

講師：西村育子先生（別府医療センター）

・第6回 医療現場に携わる臨床心理士の集い

「命を考える」 2回シリーズその2 「実りある人生と心理臨床」

日時：平成25年1月13日（日）10:00～16:00

場所：大分市コンパルホール 視聴覚室

内容：10:00～12:00「発達障害のある老年期の人々から学ぶ」

講師：佐藤晋治先生

（大分大学教育福祉科学部附属教育実践総合センター）

13:00～15:00「老いを支えるということ～老いをみつめ老いを生きる～」

講師：黒川由紀子先生（上智大学総合人間科学部心理学科）

15:00～16:00シンポジウム

シンポジスト：黒川由紀子先生

佐藤晋治先生

座長：大嶋美登子先生（別府大学文学部人間関係学科）

（4）「大分リハビリテーション心理研究会」の開催

第19回研究会：日時：平成24年7月27日（場所：別府リハ）事例検討

第20回研究会：日時：8月17日（場所：別府リハ）事例検討

第21回研究会：日時：9月28日（場所：別府リハ）高齢者の検査、訓練

第22回研究会：日時：11月16日（場所：別府リハ）他職種との連携

第23回研究会：日時：平成25年2月1日（場所：別府リハ）脳損傷の児童と検査

第22回研究会：日時：3月15日（場所：別府リハ）感情失禁

3. 地域リハ活動における課題・今後の展開

大分県内には、地域リハビリテーション分野にかかわる臨床心理士が数名しかいない現状があり、職域拡大が難しいという課題があります。そのため、現在国家資格化に向けて活動中であり、しかし、少しでも地域に貢献出来ればとの思いから平成24年度は広報活動、啓発活動のために大分県臨床心理士会のリーフレットを作成いたしました。

今後も、地域の方への肌理の細かいサービスの提供を行うことが理想であり、心理的支援、家族支援、社会復帰支援などに対して臨床心理士として関わりをもてるようになりたいと考えています。

現在はマンパワー不足ではありますが、他職種との協働と連携を図っていきつつ地域リハビリテーションに取り組んでいきたいと思っています。